**ICEXのスクリプトの使用方法**

**プログラム一式**

pfinfo.pyはPythonで記述されたスクリプトでPFIファイルから開始ステップと終了ステップを取り出すものです。

icex\_pbvr\_job.shはユーザが指定したノード数と分割数でqsub用のスクリプトを生成するシェルスクリプトです。生成されたスクリプトはアレイジョブとして実行します。

**インストール**

icex\_pbvr\_job.shとpfinfo.pyをパスが通っている所にコピーしてください。また両ファイルに実行権を付加してください。

**スクリプトのインターフェイス**

icex\_pbvr\_job.sh -vin pfi\_file -q que\_name -n node\_num -m proc\_num

[-t thread\_num] -e elapse\_time -d div\_num -ld [PBVR用オプション]

|  |  |
| --- | --- |
| オプション | 内容 |
| -vin input | pfiまたはpflのファイルを絶対パスまたは相対パスで指定 |
| -q que\_name | qsubで投入するリソース名 |
| -n node\_num | 使用するノード数 (-l select=に指定される値) |
| -m proc\_num | MPIのプロセス数 (-l selectのmpiprocsに指定される値) |
| -t thread\_num | OpenMPのスレッド数 (省略時は2。-l selectのompthreadsに指定される値) |
| -e elapse\_time | ジョブの制限時間 00:00:00形式 |
| -d div | タイムステップの分割数を指定 |
| -ld loadmodule | ロードモジュールを絶対パスまたは相対パスで指定 |

各ジョブのノード数は、「-n node\_num」オプションの指定によります。

-tオプションとPBVR用オプション以外は省略できません。

上記コマンドを実行し、エラーが無ければ「pbvr\_script\_xxxxx.sh」が生成されるので、生成されたスクリプトをqsubしてください。

**使用例**

$ icex\_pbvr\_job.sh -vin data/fork\_bin0.pfi -d 4 -q q48 -n 2 -m 4 -t 6 -e 00:30:00 server -pout result/case

generate pbvr\_script\_22725.sh

$ qsub pbvr\_script\_22725.sh

以上